



はこざきかつゆき  
箱崎勝之 議員

# 踏切道通行の安全確保を

## 〔答〕 鉄道事業者と協議

**問** 踏切改良促進法の一部改正による「課題のある踏切」に町内4カ所の踏切は指定されるか。

**町長** 基準に該当せず指定は得られない。前後に歩車道区分が無いなど通行に危険な踏切道があるが、安全確保の対策は、

**町長** 踏切道と前後の道路の一体整備、改良が望ましい。踏切の拡幅や保安設備の改修に伴い、時間を要すると思われる。生活道路や通学路、災害時の幹線道路として、安全確保の観点から、鉄道事業者との協議を検討する。



キケンな踏切

## 中学生の声

# 〔答〕 ホームページの充実 町の魅力やブランド発信は

**問** 地元紙に、中学生が町の魅力や、ブランド発信などについて投稿しているが、町長の見解は。

**町長** 郷土愛にあふれるものであり、このような若者が育っていることは非常に喜ばしい。また、そういった若者が育つ我が町の風

土を誇りに思う。投稿記事の「もち米の消費拡大PR」は、町の事業として重要では。紫波ブランド発展の具体策は。

**農林課長** 紫波ひめ隊の活動や、もち米を使った商品の紹介ホームページの充実。28年度見直しをする食育、地産

地消計画を、食文化の継承や新たな食の楽しみ、味わい方など内容を検討し策定する。

**問** もち米の消費拡大を図るため条例の制定をしてはどうか。

**町長** 町が率先して行動することは大事である。条例制定の検討をしていきたい。



中学生による田植え体験

# 自主防災組織のさらなる充実を

## 〔答〕平成32年度91組織を目標

**問** 町の防災マップを基本に、地域防災マップの作成や、自主防災組織の推進のための取り組みは。

**町長** まちづくり座談会で防災マップの説明を行うほか、自主防災組織の研修にも活用し、地域の防災に対する理解を高めていく。

**問** 地域の人たちは私たちが守るといった気概を持つ組織づく

りを、当局が主導となって取り組むべきではないか。

**総務課長** 地域ごとの要望を確認しながら、32年度91組織を目標に努力していきたい。

**町長** 27年、地域防災計画を見直した。策

**問** 査研究していきたい。策定に対して、補助金や交付金による支援というメリットもある。策定に係る出前講座やセミナーも活用したかどうか。

**建設部長** 建設部から2名が参加している。他市町村の動向も注視しながら、検討していきたい。

**町長** 国が定めた国土強靱化基本法に対する、町の国土強靱化地域計画策定の方針は。



ふじわらけいこ 藤原恵子 議員

# 一般質問



防災マップの活用を

# がんになっても就労できる体制を

## 〔答〕県と一体になって支援していく

**問** がん教育について、町の児童生徒に対する現状は。

**教育委員長** 体育の授業で疾病の要因や、生活習慣の乱れが、生活習慣病やがんの要因になることを指導している。今後も健康増進およびがん対策に関する教育を一層進めていく。

**問** 死亡率の高い胃がんの発症要因の一つ、ピロリ菌検査助成に対する見解は。

**町長** 助成費用を予算化することは難しいが、除去治療が保険適用であることを周知していく。

**問** 0歳児を対象としたB型肝炎ワクチンの定期接種化について、町の推進計画は。

**町長** 生後1歳までに3回の接種が必要なので、接種勧奨通知を郵送するなど、円滑な

**問** がんになっても就労できる体制は、町を含めた広域で推進されているか。

**長寿健康課長** 県が岩手医大を設けているほか、県内の医療機関では緩和ケアや患者を支援するサロンで助言などを行っている。

